



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

1回戦

長崎 107

○

29 - 13
28 - 20
23 - 23
27 - 17
—

73 徳島

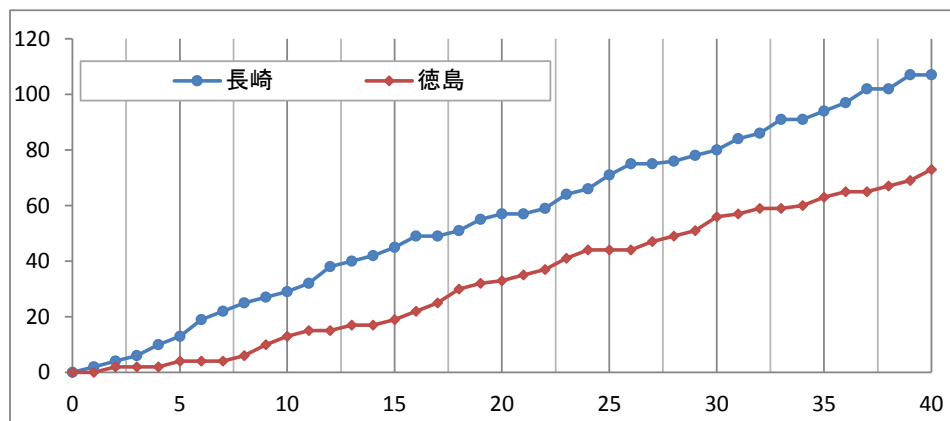
●

主審 甲斐 清 (鳥取)

副審 比嘉 涼太 (沖縄)

No. 18G-1 日時: 2014年10月18日(土) 10:00

会場: 三菱重工総合体育館



長崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 根岸 豪 (C)	17	0	6	5	2	5	2
5	中嶋 将貴	10	2	2	0	1	0	4
6	* 近藤 紘光	2	0	1	0	1	2	6
7	* 酒井 祐典	13	1	5	0	3	5	5
8	* 山田 悠太	5	1	0	2	2	2	3
9	* 庄司 亮介	21	2	6	3	2	5	1
10	吉田 雄治	6	0	2	2	2	4	1
11	今宮 翔太	0	0	0	0	0	0	0
12	陣内 純大	2	0	1	0	0	1	0
13	山田 航	3	1	0	0	0	0	3
14	藤田 俊祐	18	1	6	3	2	1	0
15	岡 隆輔	10	1	2	3	2	3	3
コーチ 岩本 清						0		
合計		107	9	31	18	17	28	28

徳島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 十川 佳司 (C)	15	3	2	2	5	7	3
5	市橋 信彦	6	0	3	0	1	0	0
6	澤口 拓	2	0	1	0	0	3	0
7	遠藤 一平	11	3	0	2	0	2	2
8	* 谷 健二郎	4	0	2	0	3	0	0
9	平石 侑督	9	0	4	1	0	1	0
10	中川 瑛貴	2	0	1	0	0	1	1
11	* 秦 雄一郎	5	0	2	1	4	4	6
12	* 蘆田 隆行	9	0	3	3	4	14	2
13	* 小笠 裕史	6	0	3	0	3	0	1
14	横川 俊樹	4	0	2	0	2	0	1
15	瀧川 恭志	0	0	0	0	0	0	0
コーチ 吉岡 博文						0		
合計		73	6	23	9	22	32	16

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

1回戦、開催県長崎対徳島の戦い。両者ともマンツーマンでスタート。立ち上がりから長崎#4のファーストブレイクや#9のインサイドからの得点により流れをつかむ。一方徳島も#8の外角からのシュートで応戦。しかし、長崎#14の交代を皮切りに長崎#14のハイポストシュートなどの連続得点により勢いに乗る。徳島はタイムアウトをとり、セットプレーから徳島#5の得点で流れを断ち切るが、長崎#14のバスケットカウントや長崎#9のスリーポイント、長崎#4のフリースローによる得点で流れを止めることができない。徳島は第1Q残り2分2回目のタイムアウト。タイムアウト明け、徳島はオールコートマンツーマンディフェンスに切り替え、長崎は苦戦するも、長崎#10と#4のハイポストからのコンビネーションからの得点で落ち着きを取り戻す。最後は徳島#7のスリーポイントで長崎29-13徳島で第1Q終了。第2Qは長崎#6のアシストから#4のバスケットカウントでスタート。その後も長崎#10ミドル。長崎#4アシストからの長崎#15のファーストブレイクによりさらに勢いに乗る。徳島もオールコートマンツーマンディフェンスをしかけ、徳島#4ゴール下、徳島#7のスリーポイントなどの活躍で前半を57対33で終了。

第3Qも長崎は、長崎#8のスリーポイント、#9の1対1でリードを広げるも徳島のオールコートトラップディフェンスに苦戦をしいられる。徳島も#4のスリーポイントをブザービーターでねじ込み第3Qを80対56で終える。第4Qはお互い一進一退の攻防を繰り返すが、最後は長崎#12の速攻からのレイアップ、#13のスリーポイントで勢いに乗り勝利。開催県長崎として、天皇杯獲得への第一歩となった。終始オールコートプレスをしかけた徳島の粘りも称えたい。

記者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会